

備前市事務事業評価表

事務事業名	幼稚園教員研修事業		コード	03-01-01-04
事業実施期間			担当課・係	学校教育課
総合計画事業(政策)体系			担当者	重成育枝
	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	電話	64-1840
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり		
	小項目(施策)	幼稚園		

事業について	
目的(何のために)	幼稚園教育に携わる教員の研修の実施、研修会等で指導・助言を通して教員の資質の向上を図る。
対象(誰・何を対象に)	幼稚園教員
内容	幼稚園教員の研修に関わる補助金の支出 研修会等での指導・助言

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
各種研修会回数	7回	6回	
各種研修会参加延べ人数	198人	204人	
園長研修会指導回数	6回	17回	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	100	国庫補助金等	直接事業費	65	国庫補助金等	直接事業費	0	国庫補助金等	直接事業費	0	国庫補助金等
	人件費	1,785	受益者負担	人件費	1,425	受益者負担	人件費	0	受益者負担	人件費	0	受益者負担
	市債		市債		市債		市債		市債		市債	
合計	1,885	一般財源等	1,885	合計	1,490	一般財源等	1,490	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.20人	0.15人	
結果指標名	各種研修会回数	各種研修会回数	
結果指標量	7	6	
単位	回	回	
対前年比	-	85.71%	0.00%
活動にかかるコスト	457,000円	350,000円	
単位当たりコスト	65,286円	58,333円	
結果指標名	園長研修会指導回数	園長研修会指導回数	
結果指標量	6	17	
単位	回	回	
対前年比	-	283.33%	0.00%
活動にかかるコスト	1,071,000円	855,000円	
単位当たりコスト	178,500円	50,294円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	幼稚園教員の研修会を実施して資質向上を図り、幼児への指導に生かす。		
成果指標名	研修会あたりの参加人数	式又は説明	研修会参加延べ人数 / 各種研修会回数 × 100
	17年度	18年度	
成果指標量	28	34	
対前年比	-	121.43%	0.00%
到達目標値	35	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:	妥当性評価<A~E> A 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	保護者や地域社会の幼稚園に対するニーズが多様化しており、新たな教育課題に対応し教員の指導力をために必要な事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	教員に求められる、幼児理解や適切な指導力をつけるためには必要な事業であるが、研修方法の検討が必要である。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	研修内容を充実させるためニーズの把握が必要である。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 幼稚園教員の研修に関わる補助金の支出をしている。研修会等での指導・助言を行っている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		

目標値	結果指標量	8	結果指標量	20
	成果指標量	35		

総合評価	幼稚園教員には、幼児を理解し活動の場面に応じた適切な指導力や家庭との連携を図る力が求められており、そうした課題に対応できる研修内容や方法を研修していく必要がある。	評価区分 <A~E> B
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	研修の成果と課題を明確化する。	21年度	参加者の増加と内容の充実が期待できる。